

質問
調査

佐賀市学校教育ビジョンに関わる設問より（キーワード：自律・尊重・創造・主体性・当事者意識）

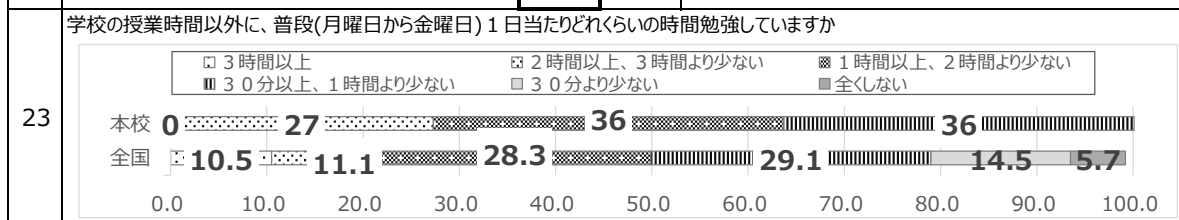
《質問領域：主体的・対話的で深い学び》

（注）数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）

質問 番号	質問事項	本校 (%)	全国 (%)
39	前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	100.0	77.6
42	学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている	100.0	85.7
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	100.0	91.7

《質問領域：主体的な学習の調整、学習習慣》

22	分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	90.9	79.4
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	100.0	78.4



本校の調査結果 ※◎（強み）、●（課題）

- ◎学習時間の長さだけでなく、自ら課題に向き合い、学び方を工夫しながら学習に取り組もうとする姿が見られます。
- ◎対話や協働を通して学びを深めようとする意識も高い傾向が見られます。
- ◎学びを振り返りながら、自分に合った学び方を選択・調整し、学習をさらに自分ごととして進めていく力が高まっています。

《質問領域：自己肯定感、幸福感 等》

8	自分には、よいところがあると思う	100.0	85.6
10	将来の夢や目標を持っている	100.0	81.8
15	学校に行くのは楽しいと思う	100.0	85.7
21	普通の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	100.0	92.5

《質問領域：向社会性》

14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100.0	95.8
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	100.0	80.1

本校の調査結果 ※◎（強み）、●課題

- ◎多くの児童が学校生活を前向きに捉え、自分のよさを感じながら生活している様子がうかがえます。
- ◎人や社会の役に立ちたいという思いが高く、他者や社会への関心が育っています。
- ◎将来の夢や目標と、現在の学びや生活とのつながりを実感できています。
- ◎地域や社会との関わりを通して、自分も社会の一員であるという意識の高さがうかがえます。

調査結果を受けて

【学校では】

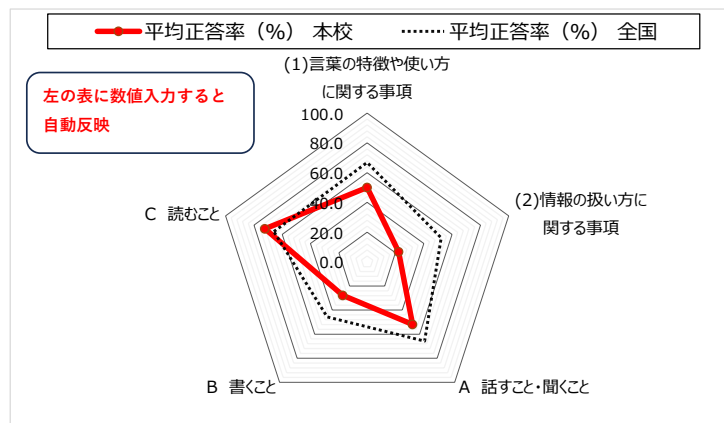
- 子どもが自ら考え、選択し、対話しながら学ぶ授業づくりを進めます。
- 子どもが安心して自分の考えを表現し、互いの考えを尊重しながら学び合える授業づくりを進めます。
- 子ども自身が考え、選択し、対話を通して納得解を見いだしていく経験を大切にします。
- 学習を振り返る機会を充実させ、自分に合った学び方を考え、調整する力を育みます。

【ご家庭では】

- 子どもの話に耳を傾け、「どうしたの？」「あなたは どうしたい？」と考えを引き出す対話を大切にしてください。
- 結果だけでなく挑戦する過程にも目を向け、「何か手伝えることはある？」という伴走の姿勢で見守ってください。
- 結果だけでなく、考えたことや挑戦したことにも目を向け、認め励ます声かけを継続してお願いします。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容		平均正答率 (%)	
		本校	全国
知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	50.0	66.8
	(2)情報の扱い方に 関する事項	22.2	52.3
思考力、 判断力、 表現力 等	A 話すこと・聞くこと	51.9	65.8
	B 書くこと	27.8	45.7
	C 読むこと	72.2	65.9



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	42.0	61.9
短答式	66.7	62.6
記述式	44.4	54.9

結果 ※◎ (強み)、●課題

- ◎ 文章から必要な情報を読み取り、内容を理解する力は概ね身に付いています。
- ◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力は概ね身に付いています。
- 読み取った内容を基に、自分の考えを整理したり、根拠を明確にして表現したりする力には課題が見られます。正解を見付けるだけでなく、自分の考えを伝え合う経験をさらに充実させる必要があります。

《正答率の高い問題》【強み】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
3三 (2)	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	77.8	76.4
2三ア	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	88.9	80.0

《正答率の低い問題》【課題】

問題 番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
2二	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる	11.1	48.9
2四	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	11.1	33.5

調査結果を受けて

【学校では】

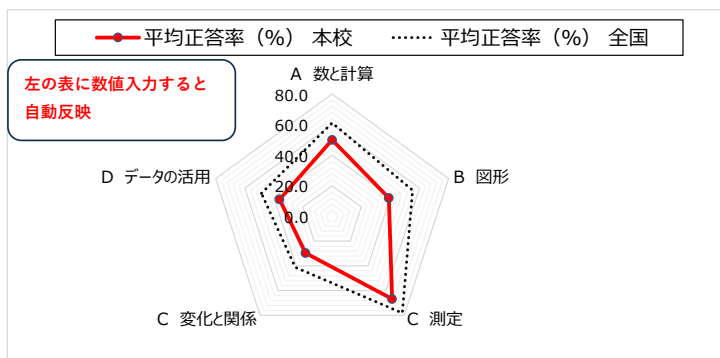
- 読む活動と書く活動を関連付けた授業改善を進めます。
- 根拠を明確にしながら、自分の考えを伝える学習活動を充実させます。
- 想像したり生活経験と結びつけたりしながら読む習慣を身につけさせます。

【ご家庭では】

- お子さんの話を最後まで聞き、「どうしてそう思ったの？」と考えを引き出す対話を大切にしてください。
- ニュースや出来事について、理由を含めて話す機会をつくってください。

《学習指導要領の内容別 平均正答率》

学習指導要領の内容	平均正答率 (%)	
	本校	全国
A 数と計算	50.0	61.1
B 図形	38.9	55.3
C 測定	66.7	78.1
C 変化と関係	29.6	41.1
D データの活用	36.1	48.6



《問題形式別 平均正答率》

問題形式	平均正答率 (%)	
	本校	全国
選択式	44.4	56.0
短答式	48.6	59.7
記述式	37.0	48.5

結果 ※◎ (強み)、●課題

◎ 問題の条件や資料から必要な情報を読み取り、根拠を基に考えようとする姿が見られます。答えだけでなく理由を考える土壌が育っています。

● 答えを求めることに加え、「なぜそうなのか」を説明したり、複数の考え方を比較したりする力には課題が見られます。自分の考えを相手に伝える経験をさらに積み重ねる必要があります。

《正答率の高い問題》【強み】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
3(1)	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができるかどうかをみる	100.0	94.5
1(1)	立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる	77.8	72.7
4(4)	帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる	77.8	74.9

《正答率の低い問題》【課題】

問題番号	出題の趣旨	平均正答率 (%)	
		本校	全国
1(3)	体積の意味について理解しているかどうかをみる	11.1	40.1
4(3)	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる	11.1	17.9

調査結果を受けて

【学校では】

- 基礎的な学習内容の練習問題に繰り返し取り組みさせます。
- 考え方や根拠を説明し合う活動を通して、思考力・表現力の育成を図ります。
- 日常生活と関連付けながら、学んだことを活用する場面を充実させます。

【ご家庭では】

- 下学年においてはお子さんと一緒にものやお金を数えたり、上学年においては新聞や新聞広告、ニュースなどの記事・グラフなどから割合に関する内容について考えたりするなど数学的思考に触れさせてください。
- 「答えは何？」だけでなく、「どう考えたの？」と過程にも目を向けてください。
- 分からないことがあったときは、すぐに答えを教えるのではなく、一緒に考えたり調べたりする時間を大切にしてください。